

厚生労働省科学研究費補助金  
「難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）：重症多形滲出性紅斑に  
関する調査研究（H29－難治等（難）－一般－028）」  
平成 30 年度 第 1 回班会議議事録

日時：2018 年 7 月 28 日（土曜日）9：30～14：00  
場所：東京駅前 朝日生命大手町ビル フクラシア東京ステーション 会議室 6 階

- 1 厚生労働省難病対策課 福田様から挨拶
- 2 診療拠点病院認定について  
平成 29 年度に 37 大学病院を認定  
平成 30 年度は 44 病院を認定予定（22 大学病院から講習会の申し込みあり）  
平成 30 年度重症薬疹診療拠点病院認定に係る講習会の実施  
日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）13：50～15：50  
第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会期間内  
場所：島根県民会館 3 階 303 会議室（学会 E 会場）

プログラム

- 1 診療拠点病院の説明（島根大学）森田栄伸
  - 2 SJS/TEN（昭和大学）末木博彦
  - 3 薬剤性過敏症症候群（杏林大学）水川良子
  - 4 SJS/TEN 眼病変の診断と治療（京都府立大学）外園千恵
  - 5 重症薬疹における全身管理（島根大学）新原寛之
- 3 SJS/TEN の急速進行例に対する早期のステロイドパルス療法の有用性に関する多施設臨床研究の進捗状況について  
（研究計画書 Ver. 1. 1、説明同意書 Ver. 1. 1、決定通知書）  
重症薬疹に対するステロイドパルス療法の有用性に関する多施設共同臨床研究  
進捗状況

施設名	倫理委員会への提出	承認	登録症例数	調査年月日
島根大学	済み	済み	2（TEN）	
横浜市立大学	済み	済み	なし	
昭和大学	済み	見込み	0	
愛媛大学	済み	審査中	0	
杏林大学	済み	見込み	1	
奈良県立医科大学	済み	審査中	0	
京都大学	済み	審査中	0	
島田市立病院	済み	審査中	0	
新潟大学	済み	審査中	0	
慶應大学	済み	未承認	0	
京都府立大学	済み？	審査中	0	

杏林大学での登録症例の SJS 症例提示がされ、良好な結果であったことが報告された。

#### 4 薬疹関連遺伝子解析について

国立医薬品食品衛生研究所から、サルファ剤による重症薬疹と HLA 解析の共同研究の提案があり、蒔田先生から国立医薬品食品衛生研究所と本研究班の解析結果が報告された。審議の結果、共同研究へ合意された。遺伝子試料の登録をしている 4 施設に臨床情報を提供していただくことになった。共著については登録施設を加えることとし、詳細は後程、協議することとした。研究継続のため杏林大学倫理委員会への研究延長申請をすることで合意された。

#### 5 DIHS の重症度分類に係る症例集積について

症例集積のため、「DIHS の重症関連因子解析に関する研究」の倫理委員会への申請状況を確認し、集積症例による臨床研究を進めることとした。

#### 6 SJS/TEN の全国疫学調査の実施について

末木先生から調査対象施設、調査表の説明がなされ、実施が合意された。9月に倫理委員会の承認を得て、12月から第一次調査を開始する予定であることが説明された。

#### 7 DIHS に対する短期シクロスポリン療法の有用性に関する臨床研究の研究計画

橋爪先生から DIHS に対するシクロスポリン療法の報告例が紹介され、臨床研究実施に向けて計画書作成することが報告された。

#### 8 DIHS 診断における血清 TARC 値の臨床研究について

浅田先生から、血清 TARC 迅速測定を用いた重症薬疹の早期診断の臨床研究の説明がされた。各施設で血清 TARC 迅速測定の先進医療を取得することが求められた。その後、保険適用に向けた臨床研究を開始する計画であるが、介入研究となるか観察研究となるかさらに、検討が必要であることが示された。

#### 9 Presentation from Taiwan-SCAR

以下の 3 演題が発表され、議論された。

4. Combined therapy of anti-TNF alpha and systemic steroids for SJS/TEN  
Wen-Hung Chung (Chang Gung Memorial Hospital)
5. Topical Betaxolol Improved Paronychia with Pyogenic Granuloma Induced by Epidermal Growth Factor Receptor Inhibitors.  
Chun-Wei Lu (Chang Gung Memorial Hospital)
6. A case report of immune checkpoint inhibitor-induced SJS  
Chun-Bing Chen (Chang Gung Memorial Hospital)

## 10 Information from K-SCAR

Jung-Won Park 先生から韓国、台湾、日本の重症薬疹発症に関する HLA タイプの相違が報告され、議論された。

午後から審議予定であった以下の演題は大型台風接近のため、次回の班会議で審議することが研究代表者から提案され、合意された。

### 1 Multiple Autoimmune Syndrome の提案

### 2 再発を繰り返した水痘・帯状疱疹ウイルスによる Stevens-Johnson 症候群の 1 例

#### 事務連絡事項

1 SJS の研究会が 2019 年初めに京都府立大学眼科学講座の主催で開催されることが報告された。

2 iSCAR2018 が平成 30 年 11 月 10 日（土）11 日（日）の 2 日間、島根県民会館で第 70 回日本皮膚科学会西部支部学術大会期間内に実施されることが報告された。

3 平成 30 年度第 2 回班会議は 2019 年 1 月 5 日（土）フクラシアで開催することが合意された。

**厚生労働省科学研究費補助金**  
**「難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業):重症多形滲出性紅斑に  
関する調査研究(H29-難治等(難)一般-028)」**  
平成30年度第2回班会議議事録

日時: 2019年1月5日(土曜日) 10:00~16:15  
場所: 東京駅前 丸の内北口ビルディング 15階 フクラシア丸の内オアゾ I 会議室  
住所: 〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-6-5

---

Summary of Asian SCAR Meeting (January 5<sup>th</sup>, 2019)

10:00 年度研究計画

森田栄伸(島根大学)により、2018年の研究課題の概略が説明された。

10:10 挨拶

武村先生(国立保健医療科学院)から、挨拶と研究成果が一般医療へも還元できるような視点で研究を推進するよう指示を頂いた。

10:20 診療拠点病院認定の講習会の進捗および2019年度予定

新原寛之(島根大学)から、2018年度は44施設を講習会へ招聘し、26施設から参加があり、12月までに16施設から認定に必要な書類が提出されたことが報告された。会議で16施設の認定が承認された。残り10施設は書類の提出後に認定をメール審議することが合意された。

2019年の講習会は、外園先生が主催される眼科のコンタクトレンズ学会に合わせて7月7日に、相原先生が主催される皮膚アレルギー免疫学会に合わせて12月1日に2回開催されることが合意された。担当はSJS/TENが横浜市立大と昭和大、眼症状が京都府立大、DIHSが愛媛大と杏林大、全身管理が島根大と選定された。

10:30 SJS/TENのステロイドパルス療法の進捗

新原寛之(島根大学)から、6例の登録が報告された。

渡邊友也先生(横浜市立大)からTENの症例を登録したが病勢が強く(ARDS合併)プロトコール逸脱したこと、倉田麻衣子先生(杏林大学)からSJSの症例を登録したが有害事象(誤嚥性肺炎、ニューモシスティス肺炎)が生じたことが紹介された。

森田(島根大)から、本臨床研究は特定臨床研究であり島根大学臨床研究審査委員会にて研究計画が承認されたこと、今後書類を整えて分担研究施設へ送付するため記載後返送することが依頼された。

11:00 DIHS の重症関連因子解析に関する研究

新原寛之(島根大)から DIHS の重症度判定基準作成のための症例集積状況が報告され、議論された。

新原寛之(島根大)からアロプリノール誘導型薬疹の HLA と臨床所見に関する研究の進捗状況が報告され、対象症例数が少なく解析困難であることが判明した。

11:10 第2回 SJS/TEN 全国疫学調査(H30-H31年度)

末木博彦先生(昭和大)から、1200施設へ1次調査依頼が1月7日発送予定であること、その後2次調査を依頼する予定であることが報告された。

11:30 DIHS の臨床研究

橋爪秀夫先生(島田市民病院)から、多施設における DIHS に対する CyA 療法の評価の研究計画書が報告された。特定臨床研究になるため、審査は島根大学臨床研究委員会で審査とする予定であること、DIHS の重症度評価基準が作成後に提出することが提案された。

浅田秀夫先生(奈良県立大)から DIHS/DRESS のバイオマーカーとしての血清 TARC 値臨床研究の進捗状況が報告された。また、DIHS/DRESS 発症後に HHV-6 の持続感染が見られる症例があることが明らかにされ、症状の遷延化と関連があることが報告された。今後、研究班で症例集積する臨床研究を開始することが提案された。水川良子先生(杏林大)から DIHS/DRESS における CMV 再活性化に関する臨床的解析結果が報告され、CMV 再活性化例ではステロイド使用例が多いこと、重症度が高いことが示された。

13:30 Information from Taiwan SCAR

1. Successful treatment of refractory DRESS by anti-IL17 biologic agent.  
Wen-Hung Chung (Chang Gung Memorial Hospital)
2. Insights into the poor prognosis of toxic epidermal necrolysis with the impact of disseminated intravascular coagulation.  
Chun-Bing Chen (Chang Gung Memorial Hospital)
3. Immune-related adverse event with panniculitis induced by pembrolizumab: a case report.  
Chun-Wei Lu (Chang Gung Memorial Hospital)

14:15 症例及び研究報告

6. 水痘・帯状疱疹ウイルスが関与した再発性 Stevens-Johnson 症候群の1例  
渡邊裕子、相原道子(横浜市立大学)
7. 急性期に川崎病との鑑別を要した Stevens-Johnson 症候群の1例  
外園千恵(京都府立医大)
8. 臨床および組織学的に Stevens-Johnson 症候群に酷似した腫瘍随伴性天疱瘡の一例  
橋爪秀夫 兼子泰一(市立島田市民)

9. サラゾスルファピリジンとセレコックスによる非典型 DIHS の一例

小松貴義、中島沙恵子、桑井匠、加来洋、野村尚史、椛島健治

( 京都大学皮膚科)

10. 水疱性類天疱瘡と糖尿病、DPP-4 阻害薬との関連性

藤山 幹子 (四国がんセンター)、原田 泰枝、佐山 浩二 (愛媛大)

15:45 Multiple autoimmune syndrome and DIHS

森田栄伸( 島根大学) から Multiple autoimmune syndrome の概念が紹介され、DIHS では自己免疫性疾患の後遺症が多く見られることから、Multiple autoimmune syndrome として難病指定を申請することが提案され、今後継続審議することが了承された。

・ 事務局連絡 (Official announcement)

次回班会議 (Next Asian-SCAR meeting)は、2019 年7 月 27 日( 土曜日) フクラシア丸の内オアゾ I 会議室で開催が合意された。